

御殿山プロジェクト「御殿山の原風景の再生」

GOTENYAMA PROJECT

積水ハウス株式会社
株式会社日建設計
大成建設株式会社一級建築士事務所



計画地は武蔵野台地が東京湾近くまで延びてきたエッジ部分に位置し、江戸時代から桜や松などの緑が崖と一体となった「崖線の風景」が多く浮世絵描かれてきた場所である。本プロジェクトは「御殿山」を品格ある土地として醸成してきた崖地形のあり様を取り戻し、力強いランドスケープで原風景を顕在化させることにより、土地の記憶を呼び起こすことを試みている。



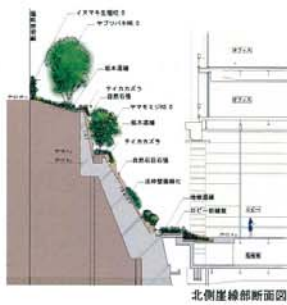
- 御殿山の歴史・文化を呼び起こす『崖線の景の再生』
- 階層的な大規模屋上緑化による『立体的な緑の連続』
- 郷土性に配慮した植栽計画による『地域の自然再生』



■ 崖線の景の再生

A, Cブロック敷地の北側は斜面であり造成上の開発擁壁が設置されているが擁壁のコンクリート面を緑と自然石で全て被覆することにより東西に連なる原風景としての崖線の景を再現した。公開スペースとして地域にも開かれている崖線の景はこの地の歴史・文化を語りかける美しい風景を地域に提供している。

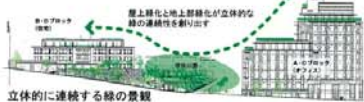
- 中央ロビーから望む昇り庭は龍門瀑をモチーフとし、巨石、植栽を緻密に配することにより、切り取られた風景が優美な浮世絵であるかのような空間を実現した。
- Aブロック北側中央の龍門瀑の1:0.6のコンクリート壁面で樹製ハニカム構造法枠を利用することで壁面緑化の土壌基盤を保持し、崖面の緑の再生を実現している。
- 巧みに配された石張、石積み目の石の隙間にはポケットをつくり、植栽することで自然の力強さを表現している。



■ 立体的な緑の連続

4種の階層的な屋上緑化を周囲の地形に合わせて配置することにより、建物の圧迫感を軽減し、周囲と調和する外観を創り出している。

- 東西に連続する多様な屋上緑化は地上部の緑と連続し、緑の軸をより強化している。
- 広大な屋上緑化により、建物のエネルギー負荷を軽減するとともにヒートアイランドの抑制にも貢献している。
- 階層的な屋上緑化により、立体的な緑を感じさせる外観を創出し、地上部からの景観向上を実現した。



■ 地域の自然再生

植栽計画にあたっては地域の潜在自然植生イノデタブノキ群集、ヤブコウジスダジイ群集の構成樹種を基本として、積水ハウスが自然との共生を目指す「5本の樹」計画を融合させ、誘鳥木等を取り入れた生物多様性に配慮した植栽計画とした。

- 約230種類の植物からなる多様な植栽空間は地域の生態ネットワークに貢献している。
- 敷地緑化率40%以上の豊かな植栽空間は都市のヒートアイランド抑制にも多大に貢献している。
- 敷地東側のエリアでは地域性苗木植栽を行う植樹イベントを開催し、環境配慮への取り組みを通して、地域との連携、環境意識の啓蒙を図っている。



環境設備デザインの評価



| 評価項目 | 目標値 | 達成状況 | 評価 |
|-----------|------|------|----|
| エネルギー消費効率 | 0.15 | 0.12 | ◎ |
| 水消費効率 | 0.15 | 0.12 | ◎ |
| CO2排出削減率 | 0.15 | 0.12 | ◎ |
| 環境負荷低減率 | 0.15 | 0.12 | ◎ |
| 緑化率 | 40% | 45% | ◎ |
| 生物多様性 | 高 | 高 | ◎ |
| 地域性苗木 | 高 | 高 | ◎ |
| 植樹イベント | 高 | 高 | ◎ |
| 環境意識 | 高 | 高 | ◎ |
| 地域連携 | 高 | 高 | ◎ |